

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- (1) 対象国籍(要項参照)を有する者。
- (2) 申請時に工学部(2年生以上の者及び編入が決定している者)・工学研究科に在籍・入学が決定している私費留学生(在留資格「留学」)で以下に該当する者。
但し、進学予定者については申込時に合格を証明できる書類を提出できる者のみ対象。
- (3) 2023年10月または2024年4月現在で在学期間が1年以上ある者。
- (4) 他の奨学金を受けていない者。
- (5) 日本で就業している親がいない者。
- (6) 「博士」の学位を取得していないこと。
- (7) 勉学・研究に支障のない日本語能力を有すること。
- (8) 年6回行われる財団の交流活動に必ず参加できる者。
- (9) 応募時に日本に居住している者。

Sufficient Japanese ability which is able to conduct research and study in Japanese is required to apply.

2 奨学金及び期間

学部生:月額 15万円、大学院生:月額 18万円

支給期間: 2年間、ただし、採用時の正規課程の修了年限まで。

3 応募方法と締切日

別紙、「申請希望者報告シート」に必要事項を記入の上、

・応募時に在学中の者は7/7(金)まで

・2023年10月または2024年4月に入学、編入学予定の者は8/2(水)まで

に国際交流係(eng-mon@grp.tohoku.ac.jp)にメール添付で提出し応募の承認を得ること。

応募の承認を得た者のみ、「4.応募書類」を

・応募時に在学中の者は7/18(火)まで

・2022年10月または2023年4月に入学、編入学予定の者は8/30(水)まで

に国際交流係に提出すること。

4 応募書類・・・《応募書類の作成留意点》をよく読んで書類を準備すること。

全ての提出書類は片面印刷とし、右上に「受付番号」を記入すること。

- (1) 履歴書1-2(様式1、様式2、日本語で自筆)
- (2) エッセイ(様式3をコピーして2枚分、日本語で自筆)
- (3) 指導教員の推薦状(様式4、指導教員が記入、英文の場合は和訳を添付、厳封)
- (4) 評価書(様式5、指導教員が記入、英文の場合は和訳添付、博士後期課程のみ、厳封)
- (5) 在学証明書(新入生の場合は「合格証明書(写)」)
- (6) 成績証明書
 - ・ 募集要項【資料I】「学業成績表の提出について」に従い、不足のないよう準備すること。
 - ・ それぞれの成績証明書の左上に、様式1「履歴書-1」の「学歴」欄に該当する番号(1~7)を記入すること。
 - ・ 用紙サイズが異なる場合は縮小コピー等でA4に合わせたものを添付すること。
 - ・ 母国の成績証明書は和訳、または英訳を添付すること。
- (7) 研究実績(A4サイズ1枚【資料II】参照、PC入力可、博士前期・後期課程のみ)
- (8) 研究計画書(A4サイズ1枚【資料II】参照、PC入力可、博士前期・後期課程のみ)
- (9) 在留カードの写し(両面)

※総長特別奨学生で応募、採用された場合、支給期間中の授業料免除申請はできません。応募の時点で後期分の授業料免除申請も不可。

※2023年10月または2024年4月から他奨学金の支給が決定している者ならびに申請中(直接応募含む)の者については、推薦対象外です。

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
私費留学奨学生 募集要項
(秋募集)

2023年10月期 私費留学奨学生

2024年 4月期 私費留学奨学生

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

- ・ 応募に必要な書類は当財団のホームページからダウンロードできます。

<http://www.sisf.or.jp>

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次の学生を対象に私費留学奨学生の秋募集を行います。

【募集対象】

- ・ 学部学生（日本の大学に在籍し応募時に2年生以上の者及び編入が決定している者）
 - ・ 大学院生（日本の大学院に在籍している者及び入学が決定している者）
- ※ 留年による最短修業年限超過者は対象外

【応募資格】

以下の条件をすべて満たしていることが必要です。（再応募可）

1. 日本国籍を有していないこと
2. 応募時に日本に居住していること
3. 在留資格「留学：college student」を有する下記対象国国籍の文部科学省所轄大学に在籍する私費留学生（短期大学生及び研究生を除く）
対象国
バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナム
4. 他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと（TA/RAの報酬及び貸与奨学金の受給は可）※
5. 学内の特別プログラム等で、用途自由な金銭を受給していないこと ※
6. 日本で就業している親がいないこと
7. 「博士」の学位を取得していないこと
8. 奨学金受給開始後の課程修学期間が1年以上であること
9. 学業・研究に支障のない日本語能力を有すること
10. 異文化交流及び社会貢献に高い関心があること
11. 当財団が主催する交流会に出席できること（年6回、主に東京で開催）
12. 奨学支援期間終了後も当財団の卒業生として積極的に交流する意思があること

※ 応募時に奨学金や学内の特別プログラムで金銭等を受給している場合であっても、当財団の奨学金支給開始時に、受給が終了している場合は応募できます。

【奨学金】

1. 支給額 学部学生 月額 18 万円
大学院生 月額 20 万円
2. 支給期間 2 年間
 - ・ 2023 年 10 月期私費留学奨学生：2023 年 10 月から 2025 年 9 月まで
 - ・ 2024 年 4 月期私費留学奨学生：2024 年 4 月から 2026 年 3 月まで
 - ・ 2 年以内に奨学生採用時の課程を修了する場合は課程修了まで支給
 - ・ 卒業までの修学期間が 3 年未満の学部学生は卒業まで支給
 - ・ 博士後期課程の大学院生は課程修了まで支給（ただし、2 年以上の奨学金受給予定大学院生には途中で審査を行い、標準修業年限内に博士号取得が困難と判断された場合は、奨学金の支給を 2 年で終了することがあります。）
3. 支給方法 2 ヶ月に一度、2 ヶ月分を本人名義の口座に振込
4. その他の支援制度（奨学金以外に下記の補助があります。）

授業料補助	学部学生・大学院生が対象
学会出席補助金	大学院生が対象

【募集人数】 約 15 名

【応募書類】

- ・ 2023 年 10 月に在籍する大学・学年を記入してください。
2024 年 4 月に進学が決定している学生のみ、2024 年 4 月時点の学年を記入してください。
 - ・ 提出書類様式 1～3 は黒のボールペンで自筆（ひらがな可）にてしっかりと記入してください。
 - ・ 成績証明書、研究計画書等を含むすべての提出書類の右上に「受付番号」を記入してください。
 - ・ 合格者には応募書類原本を提出してもらいます。結果発表まで原本を保管してください。
 - ・ 一貫制の博士課程は、最初の 2 年を修士課程、3 年以降を博士課程とみなします。
 - ・ 新編入・新入の学生は、合格証明書もしくは合格通知書が添付できない場合、応募できません。
 - ・ 当財団奨学生経験者には、エッセイテーマを別に設けています。当財団ホームページ「奨学生のページ」から再応募用の様式をダウンロードしてください。
- ※ 書類不備の場合は応募を受け付けませんので、不備がないようにしてください。

○：必須

応募書類	用紙	学部	修士	博士	備考
履歴書 1	様式 1	○	○	○	日本語 自筆
履歴書 2	様式 2	○	○	○	
エッセイ	様式 3	○	○	○	日本語 自筆（所定用紙 A4 2 枚）
指導教員推薦書	様式 4	○	○	○	・指導教員未定の場合は、その他の教員又は身元保証人等によることも可 ・英文の場合は、日本語訳を添付
評価書	様式 5	—	—	○	
学業成績表		○	○	○	資料Ⅰ参照
研究実績	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料Ⅱ参照
研究計画書	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料Ⅱ参照 1 枚
在学証明書 (合格証明書)		○	○	○	新入の場合は入学予定大学の「合格証明書」もしくは「合格通知書」

【応募締切】 締切は、下記のAとB二通りありますのでご注意ください。

A：応募時に学部2年生以上の学生 **B**：2023年10月又は2024年4月に入学・編入学の学生

- 1 ホームページ応募受付締切 **A**：2023年7月18日 **B**：2023年8月20日

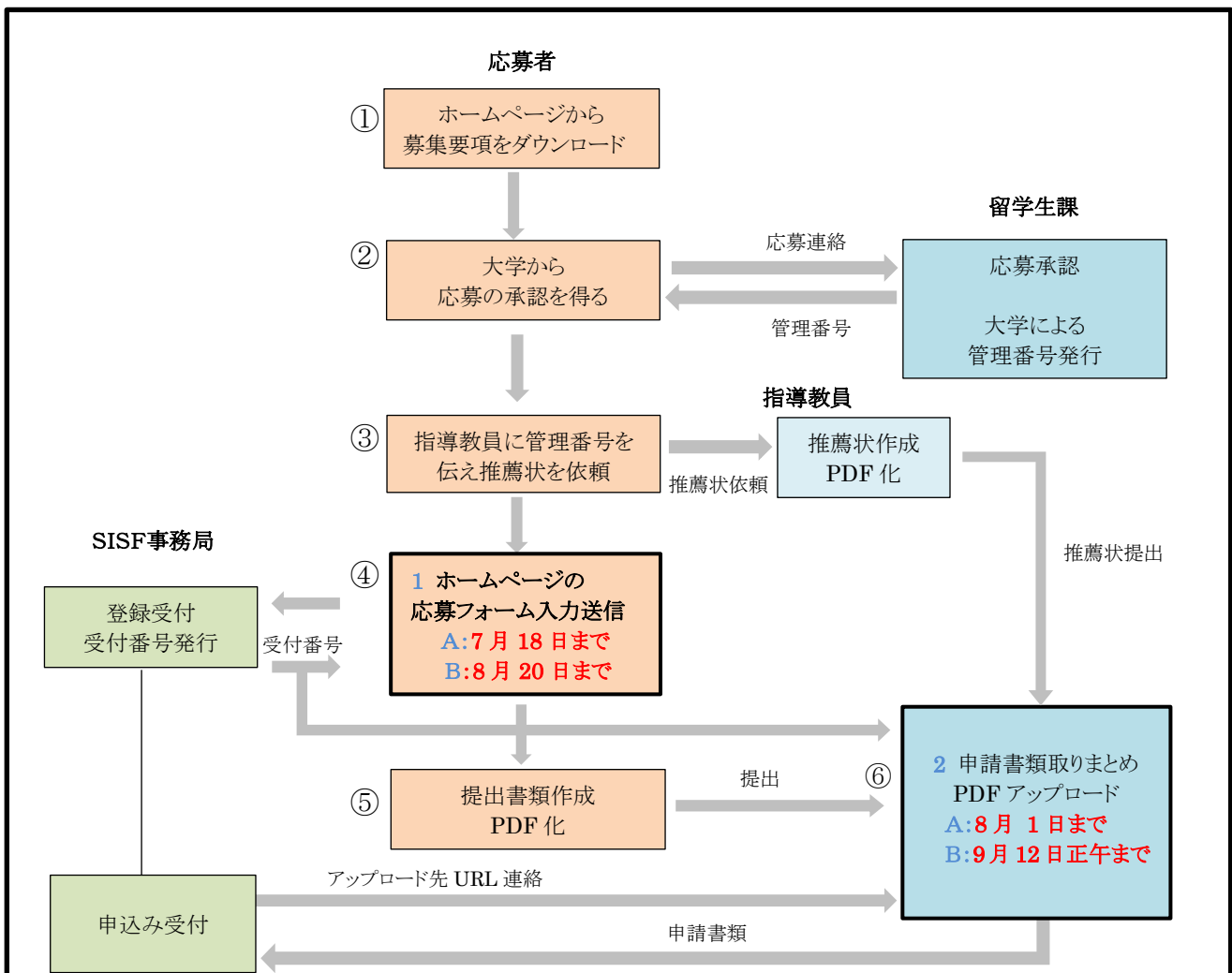
応募者は締切日までに当財団ホームページ応募フォームに必要事項を入力・送信すること。
受付締切後、すみやかにPDF書類の送付先URLを留学生課に通知します。

- 2 書類アップロード締切 **A**：2023年8月1日 **B**：2023年9月12日正午

大学の留学生課は締切日までに提出書類を取りまとめてアップロードください。

【応募方法と応募の流れ】 応募に関するFAQは当財団のホームページに掲載しています。

- ① ホームページから募集要項をダウンロード
- ② 進学先大学の留学生課から応募の承諾を得て管理番号を取得
進学先大学による手続きが不可能な場合は、2023年7月時点の在籍校（日本国内に限る。）を窓口としての応募も可
- ③ 指導教員に管理番号を伝え推薦状を依頼
- ④ ホームページの応募フォームに必要事項を入力し「受付番号」を取得
- ⑤ 提出書類を作成し、以下の設定でスキャンしPDF化
解像度：300dpi 履歴書1はカラー、その他のページは白黒
- ⑥ 留学生課にて提出書類を取りまとめアップロード
PDF化した後、ファイルが明瞭に判読できることを確認の上、送信してください。



【選考及び結果発表】

一次 書面選考 選考結果は10月20日までに発表(下記参照)

二次 面接選考 2023年10月28日(土)又は10月29日(日)

- ・ 出席必須 面接はオンラインにて日本語で実施。面接時には必ず日本にいること
- ・ 二次選考の要領は二次選考対象者及び申請窓口大学にメールにて連絡します。

合格発表 下記日時に当財団のホームページ(日本語サイト)で合格者の受付番号を発表します。

一次選考： 10月20日までに発表

二次選考： 11月2日までに発表

※合格した学生は、11月の認証式への出席が必須です。(11月12日(日)開催予定)

【留意事項】

- ・ 当財団では、奨学生として守るべき「奨学生規則」を定めています。この規則に違反した場合、奨学金の停止や奨学生資格を失うことがあります。事前にホームページで「奨学生規則」を確認し、よく理解したうえで応募してください。
- ・ 他の奨学金の採用が決定した場合、大学を通じて当財団へすみやかに連絡をお願いします。

【個人情報の保護について】

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い、奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし、奨学金受給状況確認のため「合格者一覧」を大学及び他の奨学団体に提供することがあります。

【問い合わせ先】

公益財団法人 佐藤陽国際奨学財団

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワーN

TEL 03-6435-3388

URL <http://www.sisf.or.jp>

E-mail sisf@sato-global.com

学業成績表の提出について

- ・ 下表該当欄の学業成績表を提出してください。
- ・ 日本で発行される学業成績表は原本を提出してください。
- ・ 母国で発行された学業成績表には必ず「和訳」又は「英訳」の成績表を添付してください。
翻訳成績表に証明印(サイン)があれば、母国語の成績表は不要です。
- ・ 指示のない資格証明書や賞状は添付しないでください。

2023 年 10 月 在籍 (進学) 課程 (2024 年 4 月進学及び編入する場合は 2024 年 4 月時の学年として読み替えてください)	下記に該当する 学業成績表を全て提出	説明
学部学生 ※ (応募時に 2 年生以上であること)	学業成績表	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>高校在籍期間中全ての学業成績表</u> ・ <u>在籍大学の直近まで全ての学業成績表</u> ・ 日本語学校に通っていた場合、その成績表
	日本留学試験に関する証明書(コピー可)	日本留学試験に関する証明書がない場合は、様式 1「提出資料の有無(日本留学試験に関する証明書)」欄の無に○印
大学院生 ※ (修士・博士)	学業成績表	<u>学部1年から直近まで全ての学業成績表</u>

※ 高等専門学校もしくは専門学校からの編入生(編入経験のある大学院生含む)は、応募課程に係わらず高等専門学校もしくは専門学校の学業成績表も提出してください。

【学業成績表への記入項目】 ※用紙の向きにご注意ください。

① 該当期

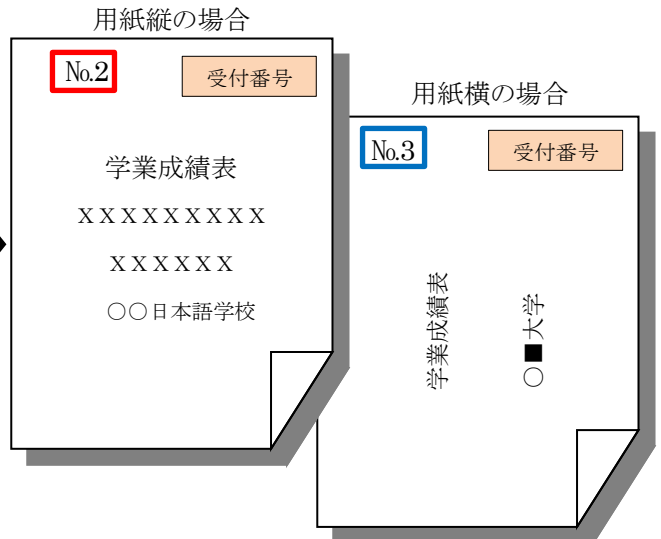
提出する学業成績表が、様式1「学歴」欄に記載されたどの期間に該当するかがわかるように、記入例を参考に学業成績表の左上にNo.を記入し、番号順に提出してください。

② 受付番号

当財団から通知された受付番号を右上に記入してください。

【記入例】

No.	期 間	学校名
1	2012 年 10 月から 2015 年 9 月まで	○○高校
2	2015 年 10 月から 2016 年 9 月まで	○○日本語学校
3	2016 年 10 月から 2020 年 9 月まで	○■大学



「研究実績」及び「研究計画書」の書き方について

「研究実績」及び「研究計画書」は、それぞれに「名前」、「受付番号」を右上に記入して提出ください。

■研究実績

- ・ 下記①～⑤に該当するものを書いてください。(何件書いても可)

①公刊論文 (レフリー付・レフリーなし)	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
②学術論文	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
③学術発表(国内)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
④学術発表(海外)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
⑤著書	題名／発表者(全員)／出版元／出版年等

※論文コード(DOI)がある場合は記載ください。

(研究実績を作成するにあたり)

- ・ 日本語、A4 サイズ(ワープロ可)
- ・ 公刊論文、学術論文、学術発表、著書、その他の分類別・年代の新しい順に記入。
- ・ 著者又は発表者が複数の場合は全員の名前を掲載順通りに書き、自分の名前には下線を引いてください。口頭発表は、発表者に*を付記してください(例:*佐藤)
- ・ 公刊論文や学術発表のサマリーは添付不要。
- ・ 博士号の取得の要件に該当する研究実績には「論文題名」の横に「**博士号取得要件**」と明記。
- ・ ①公刊論文(レフリー付)で査読中の場合は、その旨を明記してください。
- ・ 修士に進学する学生で研究実績が無い場合は、学部課程の卒論のサマリー(A4、1枚以内に必ずまとめて下さい)も可とします。それでも実績が無い場合は、履歴書-1(様式 1)の「提出資料の有無」の「研究実績」欄内の無に○をつけてください。
- ・ 「研究実績」の末尾に、卒業論文及び修士論文のテーマを書いてください。実績がない人は、「なし」と記載して下さい(例:修士論文なし)

■研究計画書

- ・ 日本語で、研究要旨を含め **A4 用紙 1 枚**にまとめてください。(ワープロ可、図表使用可)
- ・ 専攻、研究テーマは、専門外の人にも理解できるよう、わかりやすく書いてください。

受付番号

履歴書-1

名前 カタカナ			パスポート記載の性別					
国籍			年齢(2023年10月1日時点) 歳					
大学・大学院	大学		<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士 年					
	学部・研究科		学科・専攻					
	研究室名:	指導教員名:						
提出書類の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書 有 ・ 無		(大学院生) 研究実績 有 ・ 無					
学歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地(国・都市名)	専攻科目	経歴	奨学金
	1	年 月から 年 月まで	高校				卒業・中退	有・無
	2	年 月から 年 月まで		学・修博・他			編入・入学 卒業・中退	有・無
	3	年 月から 年 月まで		学・修博・他			編入・入学 卒業・中退	有・無
	4	年 月から 年 月まで		学・修博・他			編入・入学 卒業・中退	有・無
	5	年 月から 年 月まで		学・修博・他			編入・入学 卒業・中退	有・無
	6	年 月から 年 月まで		学・修博・他			編入・入学 卒業・中退	有・無
「中退」もしくは「休学」の場合は、理由を記入								
職歴 (アルバイト不要)	期 間	勤務先	所在地(国・都市名)	職務内容	在籍状況			
	年 月から 年 月まで				在籍・休職・退職			
	年 月から 年 月まで				在籍・休職・退職			
資格・免許	受賞歴	学内で所属する教育プログラム						
		なし・あり プログラム名 期間 年 月 ~ 年 月						
語学力 (語学資格含)				過去の日本在住経験				
(日本語) ※ 取得した語学資格や日本語への取り組みを書いてください。			(英語)					
			(その他の言語)					
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に) ※				あなたの人間的な魅力が伝わる自己 PR ※				
推薦状を依頼した方との「関係」と、その「理由」※								

写真貼付(カラー)

(3ヶ月以内に撮影したもの)

4.5×3.5cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入

【記入の注意点】

- ・ ※は記入必須
- ・ 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4サイズ)記入し、あわせて提出すること
- ・ 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること
- ・ 「国際交流、社会貢献活動の経験」、「あなたの人間的な魅力が伝わる自己 PR」の書く欄が足りない場合は別紙(A4サイズ)記入可

記入例

様式 1(自筆)

受付番号

S002

履歴書-1

名前 カタカナ	サトウ イチロウ			パスポート記載の性別	M			
国籍	タイ			年齢(2023年10月1日時点)	28歳			
大学・大学院	●●大学			<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 修士 <input checked="" type="checkbox"/> 博士	1年			
	●●学部・研究科		●●学科・専攻					
研究室名:	●△研究室		指導教員名: 佐藤 花子					
提出書類の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書 有・無			(大学院生) 研究実績 有・無				
学歴	No.	期間	学校名	課程	所在地(国・都市名)	専攻科目	経歴	奨学金
	1	2010年9月から 2013年6月まで	〇〇高校		タイ・バンコク		卒業・中退	有・無
	2	2013年9月から 2014年3月まで	〇▲大学	学・修博・他	タイ・バンコク	工学	編入・入学 卒業・中退	有・無
	3	2014年4月から 2015年3月まで	〇〇日本語学校	学・修博・他	日本・静岡		編入・入学 卒業・中退	有・無
	4	2015年4月から 2019年3月まで	〇〇大学	学・修博・他	日本・東京	工学	編入・入学 卒業・中退	有・無
	5	2021年4月から 2023年3月まで	〇〇大学大学院	学・修博・他	日本・東京	工学	編入・入学 卒業・中退	有・無
	6	2023年4月から 年月まで	〇〇大学大学院	学・修博・他	日本・東京	工学	編入・入学 卒業・中退	有・無
「中退」もしくは「休学」の場合は、理由を記入 日本へ留学することにしたため。								
職歴 (アルバイト不要)	期間	勤務先	所在地(国・都市名)	職務内容	在籍状況			
	2019年4月から 2021年3月まで	〇〇工業	日本・横浜	鉄道部品製造	在籍・休職・退職			
資格・免許	日商簿記3級 (2020年11月)	受賞歴	〇〇大学弁論大会2位 (2017年12月)	学内で所属する教育プログラム なし・あり プログラム名 〇〇YLP ヤングリーダーズプログラム 期間 2021年4月～2026年3月				
	語学力 (語学資格含)			過去の日本在住経験				
(日本語) ※ 取得した語学資格や日本語への取り組みを書いてください。 日本語能力試験 N1 合格(2018年7月)			(英語) TOEIC 840点/990点(2021年6月) (その他の言語)		2001～2003年の2年間親の海外赴任のため静岡に暮らしていました。			
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的) ※ 病院での日本語通訳者ボランティアを行った。(2021.4～2022.3) 〇〇交流活動で××担当の役割を担っている。(2022.3～現在)				あなたの人間的な魅力が伝わる自己PR ※ ・中学生の頃よりブラスバンド部に所属し、中高とリーダーとしてメンバーを引っ張ってきた。現在も大学の吹奏楽部のメンバーとしてオーボエを続けている。				
推薦状を依頼した方との「関係」と、その「理由」※								
学部・修士論文の指導教員で、自分の学業・生活面を最も知っている方								

写真貼付(カラー)

(3ヶ月以内に撮影したもの)

4.5×3.5cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入

【記入の注意点】

- ※は記入必須
- 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4サイズ)記入し、あわせて提出すること
- 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること
- 「国際交流、社会貢献活動の経験」、「あなたの人間的な魅力が伝わる自己PR」の書く欄が足りない場合は別紙(A4サイズ)記入可

受付番号

履歴書-2

氏名(カタカナ): _____

・「家族」全員を記入。「日本居住の親戚(おじ・おば・いとこ)」も記入 当財団の奨学生であった家族・親戚は、この欄に○を記入

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	勤務先・学校名 ※	当財団奨学生経験	
	父						
	母						
	兄弟姉妹						
	配偶者						
	子						
※配偶者が学生の場合は、記入必須。 ①大学・学部学科・研究科専攻() ②課程() ③学年(年) ④入学年月(年 月) ⑤卒業予定年月(年 月)							
経済状況	収入	仕送り	有・無		年額	円	
		アルバイト等収入	仕事内容		月額	円	
	配偶者の収入	勤務先()・仕事内容()			月額	円	
		奨学金名称()・受給期間(年 月～ 年 月)			月額	円	
住居	賃貸住宅・寮・その他()		一人住まい・()人住まい	自己負担月額	円		
奨学金	現在受給中		奨学金名称:				
			期間: 年 月～ 年 月	受給月額:	円		
	受給履歴	年	期間	奨学金名称		受給総額(年)	
		2022年	年 月～ 年 月			円	
		2021年	年 月～ 年 月			円	
2020年		年 月～ 年 月			円		
2019年	年 月～ 年 月			円			
年間授業料(年額)	現在	円	授業料免除	・受けている(下記に記入) ・受けていない			
			免除期間	年 月～ 年 月			
			免除総額	上記期間中の総額を記入 円			
			授業料免除制度	・あり ・なし ・分からない			
			授業料免除申請	・申請する ・申請しない ・未定			
研究助成金や学習奨励金等、授業料免除以外に経済的支援を受けている場合は下欄に記入(自由記入)							
(例)○○大学留学生助成金:年額 54 万円							
併願状況 (奨学金に類するもの全て)	申請先				結果発表月日		
					年 月発表		
					年 月発表		
				年 月発表			

※ 国費外国人留学生を延長申請している場合も併願状況に記入すること。

記入例

様式 2 (自筆)

受付番号

S002

履歴書-2

氏名(カタカナ): サトウ イチロウ

・「家族」全員を記入。「日本居住の親戚(おじ・おば・いとこ)」も記入 当財団の奨学生であった家族・親戚は、この欄に○を記入

家庭状況	氏名		国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名 ※	当財団奨学生経験
	父	サトウ ハジメ	タイ	60	タイ・バンコク	〇〇会社勤務	
	母	サトウ ハナコ	タイ	58	タイ・バンコク		
	兄弟姉妹	兄 サトウ ヒロシ	タイ	32	タイ・チェンマイ	▲〇大学講師	○
	伯父	サトウ タロウ	タイ	62	日本・大阪	□〇会社勤務	
	配偶者	サトウ ミチコ	タイ	25	日本・東京	○▲大学工学部 2 年	
	子供	サトウ アイ	タイ	1	日本・東京		
※配偶者が学生の場合は、記入必須。①大学・学部学科・研究科専攻()							
②課程(学部) ③学年(2 年) ④入学年月(2021 年 4 月) ⑤卒業予定年月(2025 年 3 月)							
経済状況	収入	仕送り	有・無			年額	円
		アルバイト等収入	仕事内容	リサーチアシスタント	月額	60,000 円	
	配偶者の収入	勤務先(スーパーサトウ)	仕事内容(レジ)	月額	円		
		奨学金名称(〇〇奨学会)	受給期間(2022 年 10 月 ~ 2023 年 9 月)	月額	円		
住居	賃貸住宅・寮・その他()	一人住まい・(3)人住まい	自己負担月額	70,000 円			
奨学金	現在受給中		奨学金名称: 〇〇奨学財団				
			期間: 2022 年 10 月 ~ 2023 年 9 月	受給月額: 100,000 円			
	受給履歴	年	期間	奨学金名称			受給総額(年)
		2022 年	年 月 ~ 年 月				円
		2021 年	2021 年 4 月 ~ 2022 年 3 月	〇〇奨学財団			1200,000 円
2020 年		2020 年 4 月 ~ 2021 年 3 月	■▲奨学財団			600,000 円	
2019 年	年 月 ~ 年 月				円		
年間授業料(年額)	現在	授業料免除	・受けている(下記に記入) ・受けていない				
		免除期間	2023 年 4 月 ~ 2023 年 9 月				
		免除総額	535,800 円				
		授業料免除制度	上記期間中の総額を記入 535,800 円				
		授業料免除申請	・あり ・なし ・分からない				
・申請する ・申請しない ・未定							
研究助成金や学習奨励金等、授業料免除以外に経済的支援を受けている場合は下欄に記入(自由記入)							
(例) 〇〇大学留学生助成金: 年額 54 万円							
教育リーディングプログラム教育研究費 616,000 円 (2023 年 4 月 ~ 2024 年 3 月)							
併願状況 (奨学金に類するもの全て)	申請先		結果発表月日				
	■〇財団		2023 年 10 月発表				
			年 月発表				
		年 月発表					

※ 国費外国人留学生を延長申請している場合も併願状況に記入すること。

2023 年秋募集

□エッセイ (600 字×2 枚)

下記の 3 要素すべてを含んだエッセイをあなたの言葉で書いてください。右下の空欄にページ数を記入してください。

- 1.(出発点) 日本に留学した理由
- 2.(現 在) 在籍(進学) 大学及び専攻を選んだ理由(あなたの言葉で) 記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
- 3.(将 来) 留学後の自分の進路・将来の夢

氏名(カタカナ)

→	
	5
	10
	15
	20
	25

本用紙をコピーして 2 枚書いてください。(24 字×25 行)

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
 - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
 - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。